
GOSICKのようなモノ 練習

イドゥベルガ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

GOSICKのようなモノ 練習

【著者名】

イドウベルガ

N1626Z

【あらすじ】

桜庭一樹 原作 「GOSICK—ゴシックー」の、2次創作物。
設定は、アニメの最終話の、久城一弥が、日本に帰つてくるところ
です。

1929年、世界を揺るがした戦争は、終わりを告げた。

僕は、ロシアで捕虜となり、長いシベリア抑留生活のあと開放され、
帰還兵として、日本へ戻つて来ることを許された。

長い苦難の生活の中、心の支えになつたのは、
金色の妖精の面影と、君がくれた、この指輪。

君と離れて、もう長い年月が経つてしまつた。
ヴィクトリカ、早く君に会いたいよ。

瑠璃姉さんからの手紙を見たときは、驚いたよ、
ヴィクトリカ、まさか君が、日本にいるなんて。

港は、ごったがえす人でいっぱいだった。

ヴィクトリカはどこだらう、
小さくつて、人形のようなヴィクトリカ、
ちゃんと、待つてくれてるかなあ・・・。

遠く、桜の木のそばに、小柄な人影を見つけた。

もんぺ姿に、防空すきん。

いつものフリルとレースじゃないけど、
あんなに小さいんだもの、まちがいなく君に違いない。

君を見つけ、つい嬉しくなる。

君の前に、ひざまづく。

「退屈してた?」

「君に面白い話をもひてきたよ」

早く君の顔が見たい。

彼女の答えを聞く前に、頭の頭巾を、いそいそと外してあげる。

そして、頭巾から零れ落ちたのは、

とても豊かで長い、銀色の・・・髪だった。

「ヴィクトリカ・・・?」

金色の妖精だつたヴィクトリカの豊かな金色の髪は、
おどろくほどうつくしい、銀色の髪になつていた。

「遅いぞ、春来る死神・・・」

泣きそうな顔の君が、怒ったようにふくれる。

「怒らないでよ、これでもすつしよく急いだんだ、
手紙を、受け取ってくれたんだね」

「ああ。律儀に住所が書いてあつたからね、
知恵の泉をつかい、ここまで辿り着いてやつた」

「ヴィクトリカ・・・」

「おかげで、さほど退屈はせずにするんだ
ほめてやるべ、君」

「うふ

僕は、素直にそう言った。

涙を目に溜めた、笑顔の君が、そこにいた。

「一弥ちゃん」

瑠璃姉さんが、僕を見つけて駆け寄ってきた。
どうやら、言葉にはだいぶ苦労したらしい。
ヴィクトリカのことだから、人見知りして、
うまく返事が出来なかつただけかもしれないけどね。

ヴィクトリカと手をつないで、歩く。

その手のぬくもりを、感じながら。

「その髪、綺麗だね。雪みたいだ。」

銀色の髪は、新雪のように輝いて、とてもうつくしかつた。

「大変、苦労した」

「うん」

「僕も。」

でも、不安はなかつた
「ああ、不安はなかつた」

「いつも、ヴィクトリカが」

「久城が隣にいたから。いつも・・・」

君のくれた指輪が、きっとここまで導いてくれたんだ。

僕のあげたペンダントも、ちゃんと君を守ってくれたのかな。

春の風が、桜の花を舞い上げる。

ヴィクトリカと出会った春が、またやつて來た。

初めて図書館で出会つた時から、見惚れていた、麗しの君。
金色の蝶。

姉さんよりも、母さんや、父さんたちよりも
大切な、大切な人・・・。

再びめぐり会えた、今この時に感謝しよう。

「世界がどう変わろうとも、これきり、離れるものか・・・。
お互いの手を、かたくござりあつ。」

「これからはずっと、ずっと、一緒に、ヴィクトリカ・・・。」

(後書き)

えっと、練習なので、大目に見てください。
キャラになりきり出来たらいいなーっとw

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1626z/>

GOSICKのようなモノ 練習

2011年12月5日21時56分発行